

＜本部＞

知的障害のみならず発達障害、身体障害、それらの重複障害者、医療の支えが必要な重度障害者、貧困や父子・母子家庭や様々な生活弱者への個々の対策が幅広くきめ細かく対応されていくことは社会の在り方において大事なことです。

しかし、細分化された小間切れの対策では必要な時間、必要な用事の手助けの「介護・支援」となり、強者が弱者を手助けする「サポート」というお助け活動のみになってしまいます。これでは重い障害をかかえた方々がより豊かな質の高い人間的な成長を目指した暮らしをすることができるのか？むしろ孤立化させられないか？と思うとき、逆に、集団で学び合い、支え合って、その中で社会性を広げ自立もしていく、時間をかけ腰を落ち着けてじっくり共に育ち合う環境がむしろ必要ではないかと考えますし、それが出来る形態が入所型の施設であると考えています。

大木会の運営する施設は「教育（共育）的目的を持った生活支援の場」であり、単なる介護・支援の場ではなく、縁あって集まった寮生さん、ご家族、職員がそれぞれ役割を担いながら、時代の環境や寮生さん一人ひとりの個性や健康状態や事情を勘案して「共に育ち合う」ことを目的とする生活の在り方を考えるところだと考えています。日々地道な暮らしの中に「教育」と「社会福祉」が結び合った要となる事業として、単に介護・支援の日課だけではなく、人間生活の質を問う「共に育とう」という取り組みがなければなりません。職員不足など課題は様々ありますが工夫、努力しながら本年度も教育・共育を意識した暮らしを目指し取り組みます。但し、教育・共育は指示・命令・訓練・支配の上から目線の指導を指しているものではありません。一人ひとりの心に寄り添い・慰め・傾き合い・励ますという、認め合い、傾き合い、助け合い、楽しみ合い、喜び合う、共生の考えによる暮らしの充実を目指すこと、その中に教育があることを間違わずに取り組みたいと思っています。

重点事項

1. 社会福祉関連法を順守し、財務、事業ともに健全で、透明性の高い法人活動を進めます。
2. 寮生さん職員共に、みとめあい、うなづきあい、たすけあい、たのしみあい、よろこびあう、法人風土の醸成に努めます。
3. 不足する職員対策に専任者を設け、求人と入職者の継続性と成長を支援する活動を強化します。
4. 施設の建物・設備の整備、改築資金を積み立てます。

平成31年度大木会障害者支援施設・グループホーム事業計画

入所型施設の事業体系は、昼夜（職・住）分離し、さらに夜間帯における人員体制や報酬単価は日中に行う事業に依存させたとされる施策と事業形態と言えます。さらに今年度においては、障害者支援（入所型）施設のあり方に関する実態調査が行われ、調査の狙いに「施設から地域へ」の社会の流れがあり、地域福祉のセイフティーネットとして新たな役割を加え存続につなげようとしているように思えます。

大木会各施設においては、大木会事業計画にのっとり、生涯にわたり、一人ひとりにふさわしい学習と共育の場を創造し、その取り組みの過程で生まれた人間関係や相互の課題・目標を基にして共に育ち合う「施設」運営にあたり、以下の重点項目の取り組みを行います。

重点事項

1、職員確保・育成と定着、労務環境の改善

職員確保・育成・定着、労務環境は、相互に関連し、その結果が「豊かな暮らし」を進め、職員の労務環境改善に向け、以下の事項に取り組みます。

- ・職員研修については法人、各施設、職員企画研修、それぞれの分野が連携し本部において一貫性と計画性をもって企画します。専門性の向上、権利擁護・倫理観のもとにそれぞれが役割を担い目標に向かう人・職員へと育つ願いをもって実施します。また、階層別研修を加えてハラスメント防止と働きやすい環境づくりに取り組みます。
- ・心身の健康保持は最重要項目として健診の実施とその対応。従前の項目に加えメンタルヘルスチェックについても実施します。また、感染性疾患の予防についても近年の状況を踏まえて検討を加えます。

2、住まいと活動環境の保守整備及び改修

障害特性の強い人や高齢の人たちの暮らしが共に対応ができる生活・活動環境を求め、適時の改修と保守整備、更新を行い施設の維持に努めます。

3、防災・減災対策と福祉避難所

- ・消火・消防設備の保守整備。避難・救助訓練の実施します。
- ・被災時のグループホームとの連携とバックアップ体制します。
- ・大規模災害発生及び「避難準備」発令時の湖南市福祉避難所としての役割。

4、何でもお話ししましょう会（大木会苦情解決委員会）

苦情解決委員会第三者委員（聴き取り役）が各施設を巡回し、何でもお話ししましょう会を開催。利用者、家族からの苦情や要望への早期の対応と必要に応じて委員会に助言や両者の課題調整を行い福祉活動の向上に取り組みます。

さらに、大木会職員に対しても総合的な相談窓口として対応する機関として早急に体制を整えハラスメント防止に努めます。

【別項】

平成 31 年度大木会研修計画

大木会職員としての自覚と障害者福祉施設従事者としての専門性が育成され次代の職員養成を目的として研修を実施・受講する。

研修の内容と目的に応じて法人及び各施設による企画・実施する研修と外部研修を併用して行い、必要な専門技術と資格取得を進める。また、各職員の研修企画を奨励し、施設見学や講演・講座などの参加を実施する。

年間スケジュール（概要）

区分	内容	主催等	受講対象者	実施時期
初任者研修	新任の育成	事務局 知ハン協	新任職員	4月、7月、12月 12月
一般職員研修	大木会職員、福祉施設職員としての自覚と専門性の向上。	大木会	全職種・全職員	A 10月、1月 B 11月、2月
虐待防止	人権・権利擁護	湖南市 甲賀市 社会福祉協議会	全職種（選抜） 〃 〃	
*階層別 管理職等 一般職員	ハラスメント防止研修	検索中 施設（事務局）	施設長等 全職種	
全国・近畿	知的障害関係施設職員研修会	全国大会 近畿ブロック	各施設 1～2 名 各施設 1～2 名	9月 1月
専門・資格	サービス管理責任者 相談支援専門員 （就任者研修）（現任研修） 強度行動障害者支援者養成 （基礎）（実践） 社会福祉士実習指導者	滋賀県 滋賀県 滋賀県 社会福祉士会		7月、9月 7月、8月、9月
大木会青山塾	A 先人の実践 B 幅広い分野から学ぶ	大木会	施設長推薦および 希望者から選抜	各月第 2 土曜日 各月第 4 土曜日
*自己企画研修	個人又は小グループの企画立案 による施設見学等	各施設	施設長による選抜	適時の年間 2 組程度の 実施

* 上記の他、関係機関及び各種団体が実施する研修・講習会において必要に応じて施設長の指示により、職員を派遣受講させることがある。

* 企画研修：職員自ら研修計画を立案し、施設・事業所見学や研修会等に参加して専門性と探求心を高める。

《一 麦》

1. 基本方針

重度高齢化が進む中ではありますが、介護支援中心にならないよう、個々の内面にある願いや意欲に寄り添い、職員間で目的と課題等の情報を共有する中で、個別支援も取り入れながら集団での育ち、学びを大切に、より意欲的な生活を創り上げていく施設運営を目指します。

重点事項

- 1、個々の意欲、能力に応じた日中活動をクラスやグループ活動の中で提供し、造形活動にも力を入れていきます。
- 2、日常の健康観察を重視し、医療機関と連携し健康維持に努めます。
- 3、築後 14 年が過ぎました。改修等施設整備を計画的に取り組み、安心して暮らせる住環境を整えていきます。
- 4、石部南まちづくり協議会や地元東寺区への行事参加や防災対策など、地域との連携・協力に取り組みます。

2. 事業種別

施設入所支援	定員 50 名	(48 名)
生活介護	定員 50 名	(48 名)
短期入所	定員 2 名 (男 1、女 1)	
緊急一時保護 (虐待事例を含む)	定員なし	

3. 個別支援計画 (及びモニタリング) 作成基準日

8 月 1 日、および 2 月 1 日 (モニタリング)

4. 日中活動のより充実への取り組み

高齢化・重度化が進む中で、今後の日中活動のあり方について検討していくと共に、日中活動棟 (現教室棟) や作業棟・粘土室の建て替えについて、より具体的に検討・協議をしていきます。

5. 職員配置 (予定人員)

管理者 (施設長)	1 名	(サービス管理責任者兼務)
事務長	1 名	(法人事務局長)
生活支援員	19 名	(短時間勤務者 2 名含む)
看護師	1 名	(短時間勤務)
栄養士	1 名	
調理員	5 名	(短時間勤務含む)
書記 (事務)	3 名	
嘱託医	1 名	

6. 労務管理と職員間の連携

職員の補充に力を入れていく中で、慢性的な超過勤務や男子生活支援員の宿直勤務などを改善していき、働きやすい職場をめざします。また、「私の役割と目標」や「共育面談シート」を活用し、職員の意欲向上と職員間のよりよいコミュニケーション・連携を大切に共に育ち合う職員集団であるよう取り組んでいきます。

年間行事計画 (一 麦)

月	施設行事等		健康管理
4 月	新年度全体会議(1 日) 始業式(5 日) 天理教ひのきしん(29 日)		骨量検査
5 月	氏神祭(1 日) 親子飯盒すいさん(5 日) バス遠足 避難訓練		
6 月	保護者会総会(2 日) 害虫駆除 還暦お祝い会 石部中学校ふれあい交流会	帰省	結核検診
7 月	七夕(7 日) プールひらき 一麦合宿		内科健診 職員健康診断
8 月	地藏盆	帰省	
9 月	総合防災訓練 お月見会 保護者会		腹部エコー
10 月	運動会(8 日) 石部中学ふれあい交流会 還暦お祝い会 ふれあい広場(27 日) 害虫駆除	帰省	婦人科健診 歯科健診
11 月	田村祭 石部施設合同マラソン大会 親子バス遠足		インフルエンザ予防接種
12 月	NEG 餅つき・保護者会 クリスマス会(24 日)	帰省	内科健診
1 月	新年のお食事会 避難訓練(地震)		成人病健診
2 月	節分 卓球大会		
3 月	保護者会(1 日) ひなまつり 総合防災訓練 日中活動グループ発表会 クラス編成会議	帰省	内科健診
誕生会(各ユニット) 研修旅行(2 組、3 組、一隅) 課外研修(各日中活動クラス) お楽しみ会(各学期) なんでもお話ししましょう会(4 月、9 月(一麦)、1 月)			

《もみじ》

1、基本方針

地域社会の一員である施設。年齢や障害の程度に関わらず、日々の暮らしと向き合うなかで生きがいと喜びが生まれ、共感できる関係が育つ環境を大切にします。

重点事項 1、(社会)生活課題に対して「ひとりひとりを大切にしたい支援」のもとに積極的に取り組みます

2、(地域)医療機関と連携し健康保持に努めます

3、施設及び施設設備改修の実施と検討を行い、これからも安心して暮らせる住環境を目指します

①LED 照明への転換工事

②居室(間口)改修、トイレ改修等

4、安全管理と防災・減災対策。地域においては福祉避難所の役割を担うとともに大規模災害への対策を整えます。

2、事業種別 (利用予定)

施設入所支援 定員 50 名 (45 名)

生活介護 定員 50 名 (実利用者 53 名、うち外部(あざみ含む)利用者 11 名)

短期入所 定員 4 名 (男 2 名、女 2 名)

日中一時事業及び緊急一時保護(虐待事例を含む) 定員なし(湖南省・甲賀市協定)

3、個別支援計画(及びモニタリング)の作成と基準日

年 2 回の定期モニタリング(振り返り)を行い、4 月 1 日、及び 10 月 1 日を基準に個別支援計画を作成し目標と課題に基づいてよりよい支援の継続を図ります。

4、日中活動における生産活動と工賃及び社会活動助成費について

日中活動で行う生産活動で生じた収益は、必要な会計処理を行い、生産活動に参加する利用者に工賃(月額 5,000 円)として支給します。また、社会活動助成費として本人支給金として月額 1,000 円を支給します。

5、職員配置(予定人員)

管理者(施設長) 1 名(あざみ兼務)

サービス管理責任者 1 名

生活支援員 17 名(うち 4 名は短時間勤務) *新卒女子採用 1 名

看護師 2 名(短時間 2 名)

栄養士 1 名

調理員 1 名

書記(事務) 1 名

計 24 名

6、目標・課題に向かって

利用者とともに職員が学び成長できる環境であること。目標と課題が自分のものとしての自覚があること。

職場全体が職員個々に対して、チームに対して応援する力と環境が土壌となるよう取り組みます。

《あざみ》

1、基本方針

地域社会の一員である施設。年齢や障害の程度に関わらず、日々の暮らしと向き合うなかで生きがいと喜びが生まれ、共感できる関係が育つ環境を大切にします。

重点事項 1、(社会) 生活課題に対して「ひとりひとりを大切にした支援」のもとに積極的に取り組みます

2、(地域) 医療機関と連携し健康保持に努めます

3、施設及び施設設備改修の実施と検討を行い、これからも安心して暮らせる住環境を目指します

①LED 照明への転換工事

②居室(間口) 改修、トイレ改修等

4、安全管理と防災・減災対策。地域においては福祉避難所の役割を担うとともに大規模災害への対策を整えます。

2、事業種別 (利用予定)

施設入所支援 定員 30 名 (26 名)

生活介護 定員 30 名 (実利用者 31 名、うち外部(もみじ含む)利用者 5 名)

短期入所 定員 2 名 (女 2 名)

日中一時事業及び緊急一時保護(虐待事例を含む) 定員なし(湖南省・甲賀市協定)

3、個別支援計画(及びモニタリング)の作成と基準日

年 2 回の定期モニタリング(振り返り)を行い、4 月 1 日、及び 10 月 1 日を基準に個別支援計画を作成し目標と課題に基づいてよりよい支援の継続を図ります。

4、日中活動における生産活動と工賃及び社会活動助成費について

日中活動で行う生産活動で生じた収益は、必要な会計処理を行い、生産活動に参加する利用者に工賃(月額 5,000 円)として支給します。また、社会活動助成費として本人支給金として月額 1,000 円を支給します。

5、職員配置(予定人員)

管理者(施設長) 1 名(もみじ兼務)

サービス管理責任者 1 名

生活支援員 17 名(うち 4 名は短時間勤務) * 新卒女子採用 1 名

看護師 2 名(短時間 2 名)

栄養士 1 名

調理員 1 名

書記(事務) 1 名

計 24 名

6、目標・課題に向かって

利用者とともに職員が学び成長できる環境であること。目標と課題が自分のものとしての自覚があること。

職場全体が職員個々に対して、チームに対して応援する力と環境が土壌となるよう取り組みます。

年間行事計画（もみじ・あざみ共通）

月	施設行事等		健康管理
4 月	年度初め、 新年度全体会議（2 日）	帰省	なんでもお話ししよう会
5 月	氏神祭（1 日）、運動会（26 日）、 防災訓練		結核検診、
6 月	害虫駆除（薬剤散布）、 総合防災訓練 家族の会総会（24 日）、 石部中学ふれあい活動		
7 月	七夕・創立記念日、 寮生旅行①、② 定期健診、 防災訓練		（歯科検診）
8 月	地蔵盆、 盆踊り、 防災訓練	帰省	（深夜業務従事者検診）
9 月	全体支援会議①、 追悼会、 兄弟姉妹の会 寮生旅行③、 防災訓練		なんでもお話ししよう会②
10 月	石部中学校ふれあい活動、 まんぷく祭 寮生旅行②、 防災訓練		
11 月	寮生旅行④ 、 防災訓練		インフルエンザ予防接種
12 月	害虫駆除、 クリスマス会、 もちつき	帰省	
1 月	お正月、 定期健診		なんでもお話ししよう会③ 成人病健診
2 月	節分、 全体支援会議②		
3 月	寮生劇	帰省	

平成31年度事業計画

《グループホーム おおきな木》

1、基本方針

グループホーム事業は地域生活支援ですが、居住における支援に終わることなく生活全体への応援が求められます。各日中活動事業所との連携とともに一人の生活者として必要な取り組みの提案と手助けを大切にします。

2、支援（職員）体制（入居者：6名 女子）

管理者	1名（兼務）
サービス管理責任者	1名（兼務）
生活支援員	1名（兼務）
世話人	3名以上（1名兼務）
夜間宿直	1名（ホームスタッフ及び法人関係職員が担当）

3、スタッフ会議と利用者との話し合い

それぞれ毎月開催する。スタッフ会議では、入居者の健康及び生活状況について確認と協議を行い、共通の支援方向を確認します。入居者のみでの自治会的な活動はしていませんが、スタッフとともに生活上の悩みや時には不満を出し合い、安心して暮らせるように全員で話し合い、よりよい暮らしづくりに向け支援します。

なんでもお話ししましょう会（苦情解決委員会）から、年1回ですがお話し会で自由な個々の思いを受け止めていただき、必要な支援課題として助言も受けます。

4、入居者の状況と支援について

個別支援計画を入居者とともに作成し、スタッフが共通の支援方向をもってサポートします。また、日中活動の場及び職場との連携を大切にして、健康で長く現状の生活と活動（仕事）が続けられるように調整します。

健康管理については、年齢的にも重要な問題となっています。定期通院の付き添いをはじめ、成人病検診（もみじ・あざみで対応）後のフォローを含めて対応します。

5、余暇活動と社会活動への参加

余暇活動への支援として、外出や買い物への同行支援を行うとともに、地域活動への参加が希望により取り組めるように情報提供と支援を行います。

平成31年度事業計画

《グループホーム 碧天（あおぞら）》

1、基本方針

開設3年目を迎えいろいろな課題もありながらも入居者2名の暮らしが整ってきました。今年度ようやく新規入居者2名の加入を予定し体験入所および保護者説明を継続しています。ある程度の身辺自立が見込まれる方たちですが、4人の生活が事故なく進められるようにゆっくりと取り組んでいく予定です。

2、支援体制（入居者 男性2名）

スタッフ構成	管理者（非常勤）	1名
	サービス管理責任者	1名
	生活支援員（短時間）	1名
	世話人（短時間）	3名
	宿直者1名（大木会職員及び宿直ボランティアが対応）	

3、「大木会のホーム」を目指して

グループホームは居住の場での支援ですが、個別生活への支援ではありません。小さな生活単位ですが社会生活を学び、スタッフの役割は生活援助や介助で終わるわけではありません。常に人との関りをとおして自己覚知です。それだけにスタッフの役割と働きかけが重要です。

個々の生活を大切にするとともに社会性を求める大木会のホームづくりを進めていきます。

平成 3 1 年度
大木会相談支援事業所 事業計画

1、事業方針

大木会利用者のサービス等利用計画作成を優先し進めていますが、湖南省において相談支援事業所及び従事職員の不足は顕著です。さらに特別支援学校等を毎年卒業する利用者のサービス等利用計画の作成は、慎重に聞き取り実態調査を行う必要があります。現在の体制では、十分に地域の要望に応えることができませんが、その役割にも取り組めるよう進めてまいります。

2、事業内容

福祉サービス等の利用に関わる基本相談、福祉サービス等利用計画の作成に係る相談支援業務、障害児相談支援業務。関係機関及び当該者の利用事業所等との連絡調整による適切な福祉サービスの利用支援。

- ・ 特定相談支援事業
- ・ 障害児相談支援事業

3、対象地域

湖南省、甲賀市及び隣接地域

4、職員配置

管理者 1 名（兼務）

相談支援専門員 1 名（兼務）